

2021年7月期第3四半期 決算補足説明資料

2021年6月11日
株式会社アースインフィニティ
[7692]

会社概要

profile

名称	株式会社アースインフィニティ
所在地	大阪市北区堂島浜2丁目2番28号堂島アクシスビル2F
設立	2002年7月18日（決算期：7月）
証券コード	7692（2020年10月16日上場、東証JASDAQスタンダード）
代表	代表取締役 濱田 幸一
事業内容	小売電気事業、ガス小売事業 電子機器（電子ブレーカー）の製造・販売・卸業
従業員数	68名（2021年4月末現在）

philosophy

人や仲間が集まり続け 求められ応え続ける会社

私たちは、人（お客さま）や仲間（社員）の期待に応えることを使命とし、その期待に応えることにより更に人や仲間が集まり、成長・発展し続ける会社を目指しています

history

2002

現 株式会社アースインフィニティ 設立

2003年 電子ブレーカー特許出願

2010

電子ブレーカー特許取得 特許第4457379号

2015年

小売電気事業開始(特定規模電気事業者)

2016

小売電気事業者登録 登録番号 A0281

2019

ガス小売事業開始

ガス小売事業者登録 登録番号 A0073

2020

東京証券取引所 J A S D A Q 市場上場

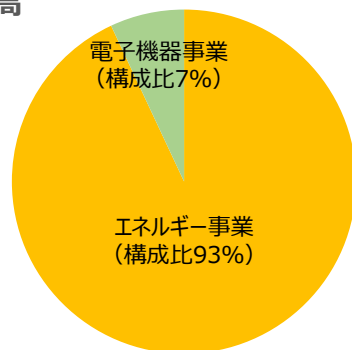


事業概要

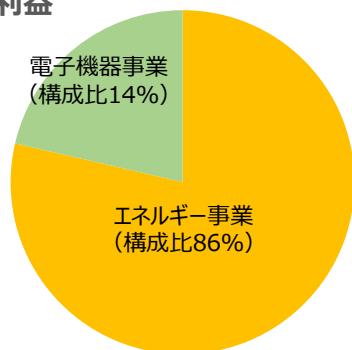
エネルギー事業	一般家庭、個人事業主、法人、国・地方自治体などの需要家に対して電気、ガスの販売を行う事業
電子機器事業	電子ブレーカー（高性能コンピューター内蔵式ブレーカー）の製造・販売・設置を行う事業 ※電子ブレーカーとは、工作機械や、業務用エアコンなどの動力（200V）電気を使用している小規模工場・店舗等に設置することで、契約電力（kW）の引き下げを行い、電気の基本料金を削減する当社の特許製品

セグメント内訳（2020/7期）

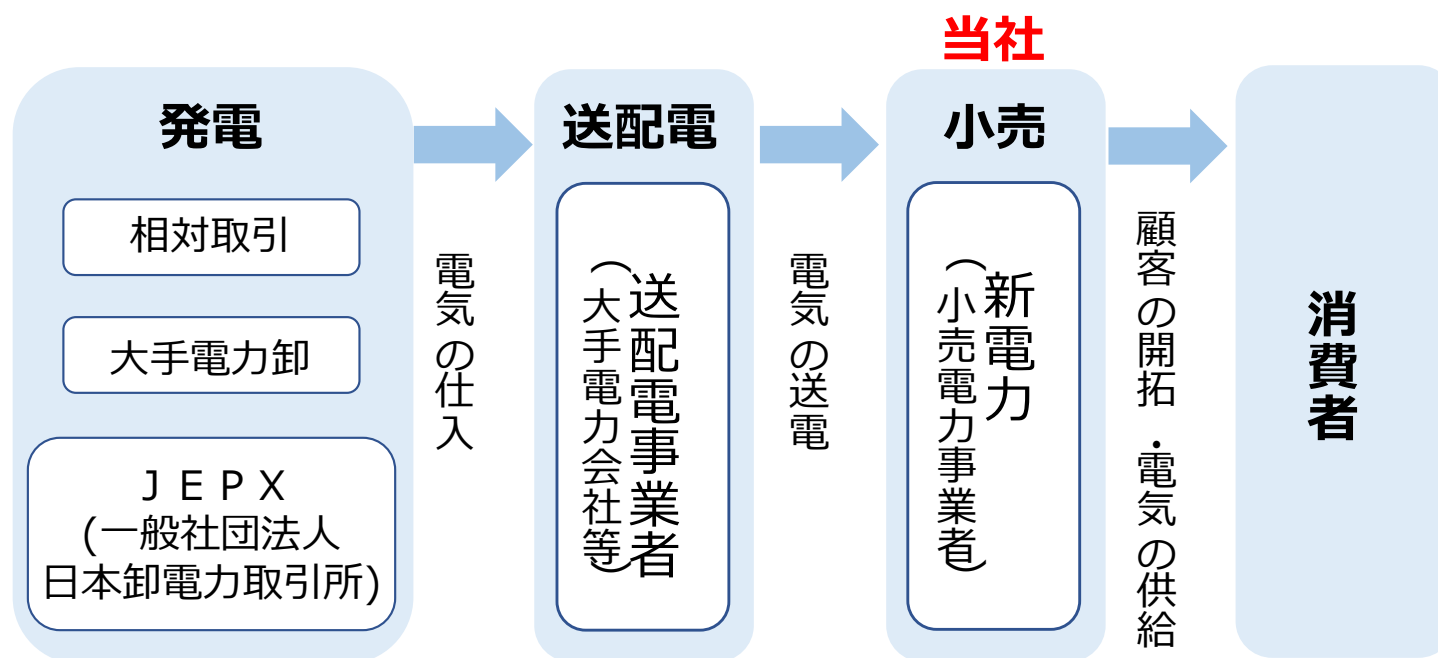
売上高



営業利益

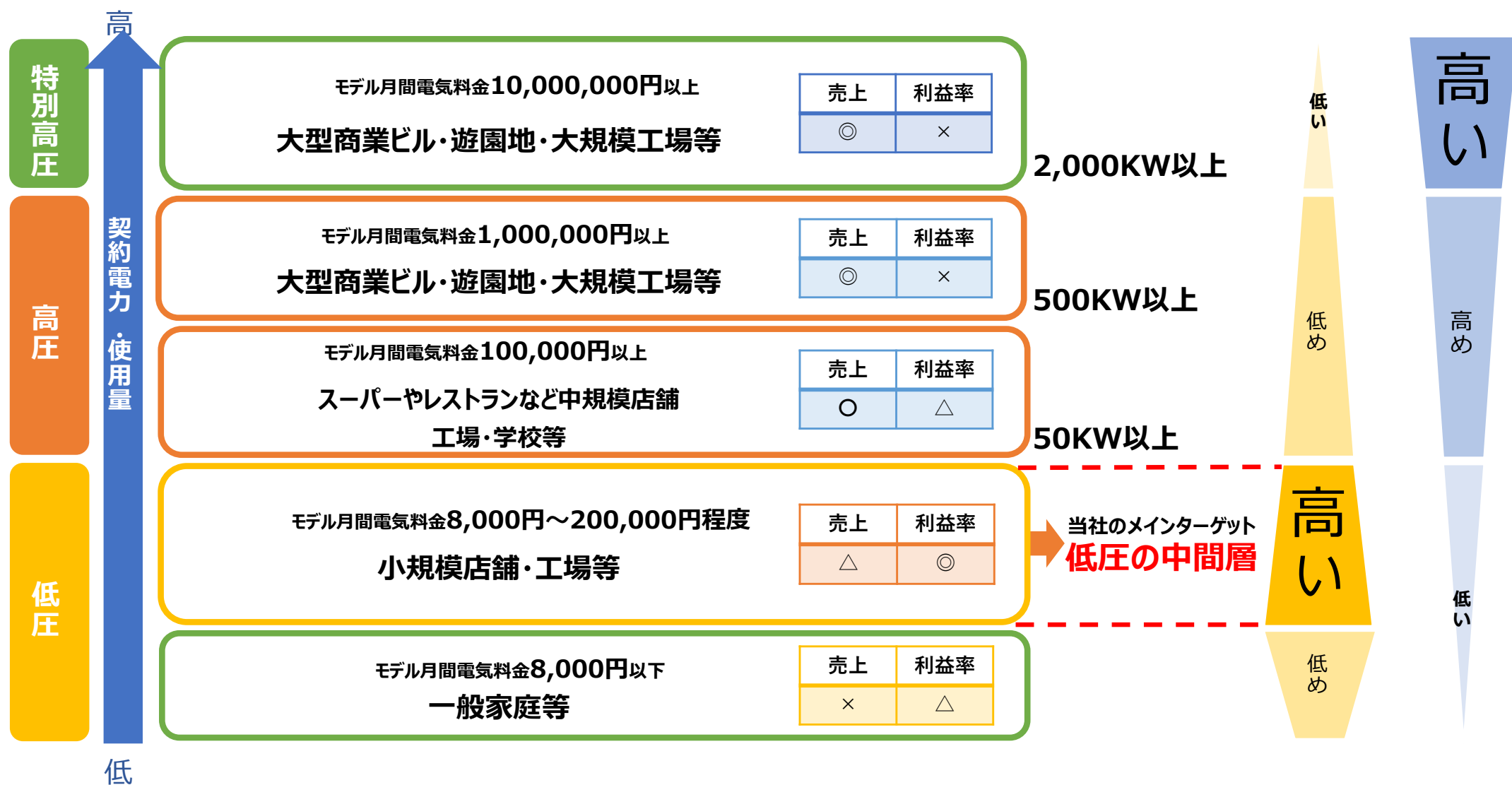


事業のイメージ図（エネルギー事業）



当社のターゲット層について

- 利益率が高く、同業他社の介入が比較的少ない低圧の中間層（大口と一般家庭との中間である個人事業主や中小企業）をターゲットとして特化することで、利益率を確保しつつ契約件数を継続的に増加させております。
当社のターゲット層（イメージ）



I. 決算ハイライト（2021年7月期第3Q）

II. 今後の展開

III. 中長期の事業展開イメージ

I. 決算ハイライト（2021年7月期第3Q）

■ 2021年7月期第3Q業績

売上高

28億32百万円

営業利益

86百万円

- 上場に伴う人員数の増員・契約件数の積上げ
- ストック型ビジネスによる堅調な売上・利益の積上げ
- 電力調達が多様化

■ 計画比の進捗状況

売上総利益	591百万円	(進捗率65.4%)
経常利益	89百万円	(進捗率40.6%)

■ インバランス料金の支払いについて

2021年3月5日に確定された不足分インバランス料金の支払いについて、
2021年4月5日に一括払いにて完了

新型コロナウイルス感染症の影響について

新型コロナウイルス感染症の影響について、当社の営業活動において、まん延防止等重点措置や延長された緊急事態宣言により、電気需要の減少が続いており、いまだ厳しい状況となっております。

その中でも契約件数・売上高は堅調に推移しており事業継続に大きな影響はありません。

当社事業への影響

エネルギー事業（小売電気・ガス小売）

景気動向によらず需要が存在する事業であります。

緊急事態宣言の発令や営業自粛などの影響による電力需給の低下がありますが、事業継続に大きな影響はありません。

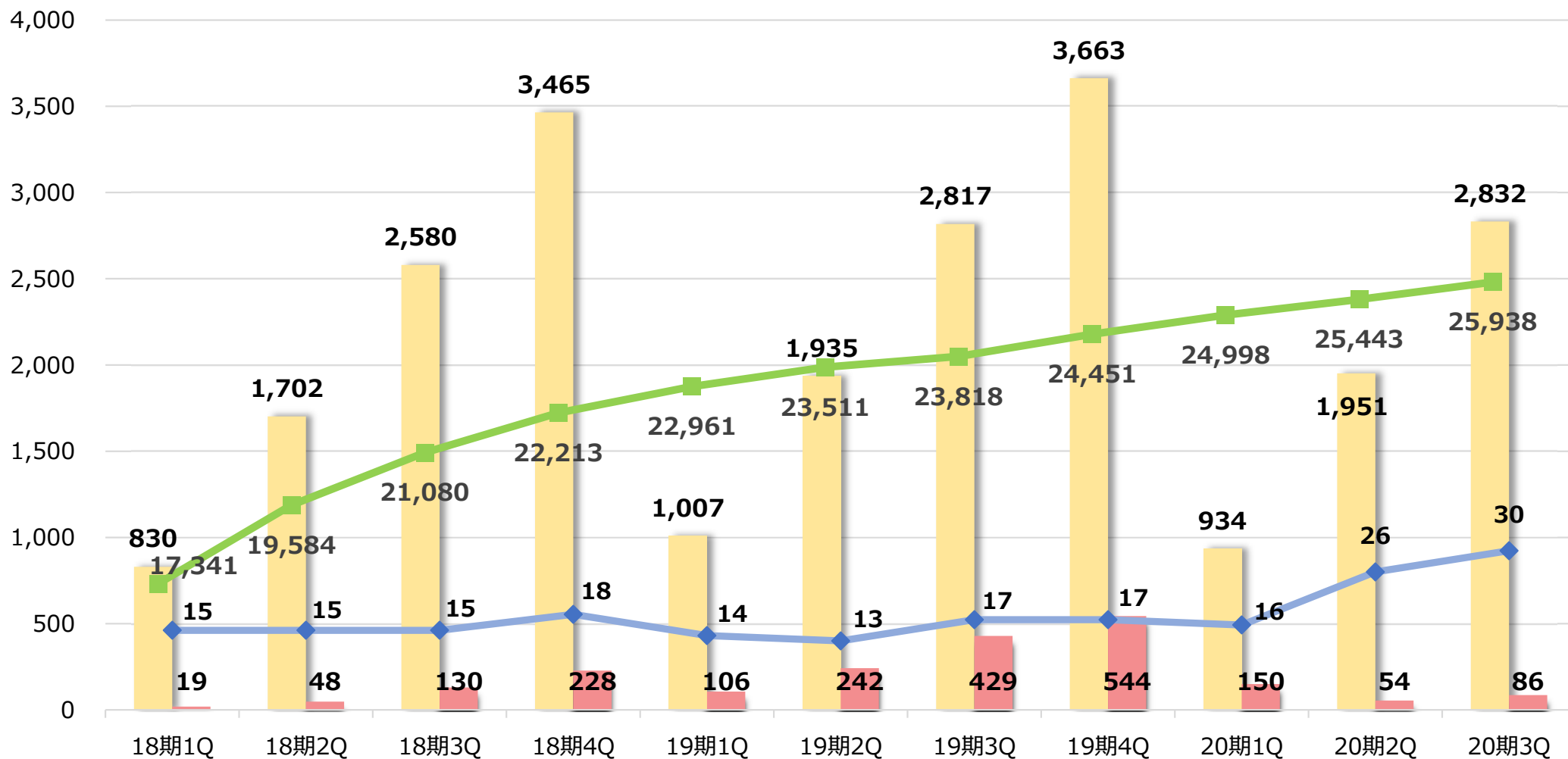
電子機器事業

リプレイス販売を中心に行っており、業績に与える影響は限定的であると見込まれるため、業績に与える影響は軽微であります。

四半期 業績推移 (累積)

(単位：百万円)

売上高 経常利益 営業人員数 (名) 契約件数 (件)



2021年7月期第3Q P/L (前年同期比)

電力需要の低下に伴う1顧客あたりの使用量が減少しているものの売上高昨年同期比で**売上高0.5%増**

(単位：百万円)	2020/7期3Q (実績)		2021/7期3Q (実績)		前年同期比	
	金額	対売上比	金額	対売上比	増減額	増減率
売上高	2,817	100.0%	2,832	100.0%	15	0.5%
売上総利益	855	30.38%	591	20.9%	△264	△30.9%
営業利益	429	15.2%	86	3.1%	△343	△79.8%
経常利益	433	15.4%	89	3.1%	△344	△79.5%
四半期純利益	304	10.8%	59	2.1%	△245	△80.6%

2021年7月期通期 P/L (計画比)

エネルギー事業において、下期から翌期にかけて、今冬の高騰を鑑み相対取引等の取引を増加させ、十分なリスクヘッジをおこなった調達をおこなう方針としております。

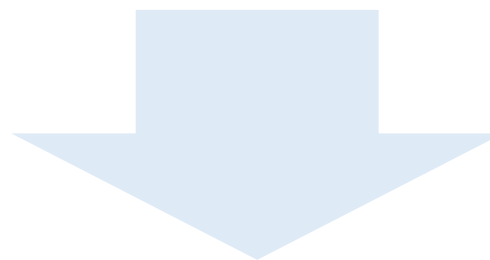
(単位：百万円)	2021/7期3Q (実績)		2021/7期 (計画)		進捗率
	金額	対売上比	金額	対売上比	
売上高	2,832	100.0%	3,737	100.0%	75.78%
売上総利益	591	20.9%	904	24.2%	65.3%
営業利益	86	3.1%	217	5.8%	39.9%
経常利益	89	3.1%	219	5.9%	40.6%
四半期純利益	59	2.1%	140	3.7%	42.0%

2021年7月期第3Q B/S

季節性により売掛金と買掛金ともに減少しているほか、市場価格高騰に伴う保証金の預け入れがあったものの安定した資金繰りとなっている。
自己資本比率についても66.3%となった。

(単位：百万円)	2020/7期末 (2020/7/31)	2021/7期3Q (2021/4/30)	増減額	主な増減要因
	金額	金額		
流動資産	1,386	1,200	△185	季節性による売掛金の減少
固定資産	74	197	123	市場価格高騰による保証金の増加
資産合計	1,460	1,398	△62	
流動負債	676	396	△280	季節性による買掛金の減少 法人税の支払いによる減少
固定負債	98	75	△23	
負債合計	775	471	△304	
純資産合計	685	927	241	公募増資、四半期純利益による増加
負債・純資産合計	1,460	1,398	△62	

- 今期の配当については、期末配当にて上場記念配当金を含む1株につき43円を予定
- 株主資本の効率化と利益還元を重要視
- 総還元性向を考慮した株主還元を継続します



**上場記念配当金を含む
1株当たり43円を予定**

Ⅱ. 今後の展開

重要テーマに沿った取り組みをおこない、環境変化を見極めながら取り組みを強化

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



再生可能エネルギーの
持続的な普及に貢献

風力発電所の建設

私たちは、エネルギー資源が枯渇しない・温室効果ガスを排出しないことに取り組みます

電気・ガス・水と環境領域において事業を展開し、人々の豊かな暮らしを支えるとともに、それを担う地球環境にも配慮し、環境保全活動を推進しています。
エネルギーをつくる方法のうち、再生可能エネルギーを使う方法の割合を大きく増やしていきます。



再生エネルギー電源の確保への積極的な取り組み

当社初の風力発電所の建築

地球環境に優しい再生可能エネルギーの開発の一環として、愛媛県西宇和郡伊方町に、当社初の事業用風力発電所となる「愛媛県西宇和郡ウィンドファーム」を建設することに決定しました。

概要

名称	愛媛県西宇和郡ウィンドファーム
場所	愛媛県西宇和郡伊方町
建設費	約2億円 ※全額自己資金で決済
風車の概要	高さ30m ロータ直径15.6m
想定発電量	約460,000kWh/年間
売電価格	55円/kWh

2021年12月運転開始予定

イメージ写真



5 ジェンダー平等を
実現しよう

働きやすい 社会づくりへの貢献

大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証

男女問わず、誰しものが自分の能力を発揮できる会社をつくります。

女性が活躍し続けられる組織を目指して

「大阪市女性活躍リーディングカンパニー」の最高賞である2つ星の認証を受けております。

意欲のある女性が活躍し続けられる組織づくりに努め、ジェンダー平等目標を達成するための活動を行っています。

14 海の豊かさを
守ろう

自然環境保全への貢献

レンタルウォーターサーバーの取次業務開始

レンタルウォーターサーバーの取次業務開始に伴い、毎日飲む飲料水を、ペットボトルからボトルウォーターへ変えることで、海洋プラスチックごみを削減することが出来ることから地球環境に貢献します。

G20大阪サミットにて共有された、海洋プラスチックごみによる新たな汚染を2050年までにゼロにすることを旨とする「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現と地球環境に貢献します。



■ 市場価格の変動リスクへの対応

季節ごとに市場からの調達と相対調達の量を調整、電力先物取引、常時バックアップからの供給など市場価格変動リスクの低減のため、電力調達手段の多様化をおこない、積極的なリスクヘッジを計画しています。

電力調達手段の多様化

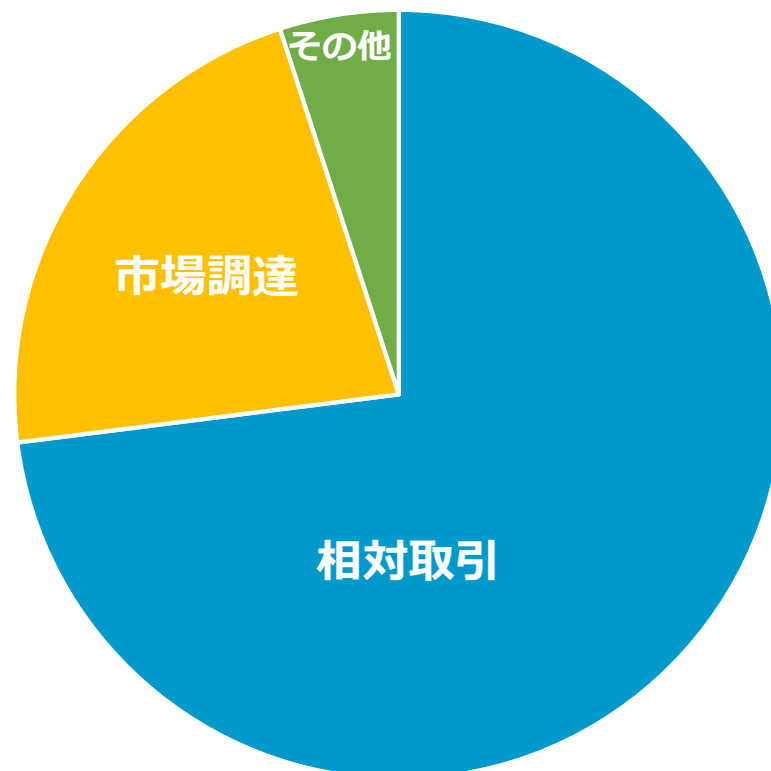
相対取引

市場調達

電力先物取引

常時BU

調達割合



中長期の事業展開イメージ

エネルギー事業の拡大

下記の4点を主軸に事業規模の拡大を行ってまいります。

- 電気・ガスのセット販売
- 営業人員の増加
- 営業所開設・営業エリア拡大
- 販売代理店網の拡充



将来の見通しに関する注意事項

本資料は当社の企業情報などの提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、弊社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものでなく、また、弊社はその内容を更新する義務を負うものではありません。

また、本資料に記載される当社の計画、見通し、見積、予測、予想その他の将来情報については、現時点における弊社の判断または考えに過ぎず、実際の弊社の経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギーの政策、法令、制度、市場等の動向、弊社の事業に必要な許認可の状況、気候、自然環境等の変動等により、本資料の記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざんデータダウンロード等によって生じた障害などに関し、事由の如何を問わず一切責任を負うものではありません。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社アースインフィニティ IR担当

Mail : earth-ir@earth-infinity.co.jp